



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 富士石油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5017 URL http://www.foc.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)山本 重人
 問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)鈴木 龍司 (TEL)03(5462)7803
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	208,557	357.1	17,895	—	18,669	—	15,720	—
2022年3月期第1四半期	45,622	△39.9	△652	—	△899	—	△12	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期17,465百万円(1,230.3%) 2022年3月期第1四半期1,312百万円(△48.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	204 00	—
2022年3月期第1四半期	△0 16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	420,112	81,233	19.3
2022年3月期	352,842	64,539	18.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期81,060百万円 2022年3月期64,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0 00	—	10 00	10 00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		0 00	—	10 00	10 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	446,100	200.0	23,700	—	23,700	—	19,900	—	258 23
通期	871,700	79.6	25,900	66.7	24,100	49.9	20,000	31.5	259 53

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	78,183,677株	2022年3月期	78,183,677株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,121,208株	2022年3月期	1,121,198株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	77,062,473株	2022年3月期1Q	77,062,479株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるドバイ原油価格は、期初1バレルあたり101ドル台で始まりましたが、中国の上海において新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウンが実施されたことにより需要が減少したことや、国際エネルギー機関の加盟国が合計2億4千万バレルの協調備蓄放出を決定したことで、需給逼迫懸念が後退し4月上旬には97ドル台まで下落しました。その後、欧州連合がロシア産の原油や石油製品の輸入を段階的に禁止することに合意したことで、再び需給の引き締まりが意識され、相場は上昇に転じました。さらに、中国の上海では6月初旬からロックダウンが解除されたことにより原油需要の回復が期待されたことから、6月中旬には118ドル台まで上昇しました。その後、米連邦準備制度理事会等によるインフレ対策を目的とした急速な利上げが景気後退を招くとの懸念が台頭したことで下落に転じ、113ドル台で当四半期の取引を終了しました。この結果、期中平均では約108ドルとなりました。

一方、期初1ドル122円台前半で始まった為替相場は、インフレ抑制を急ぐ米国が利上げペースを速めたことを背景に円安・ドル高基調を強め、5月初旬に130円台を突破しました。6月に入っても、日銀が従来の超緩和的政策の維持を決めたことから円を売る流れが続き、ドル/円相場は期末が約24年ぶりの高値水準となる136円台後半で終了しました。この結果、期中平均は129円台後半となりました。

このような事業環境のもと、当社は前年の5月から7月にかけて行われた、4年に一度実施する大規模定期修理の影響解消により、袖ヶ浦製油所での原油処理量は、前年同期比1,162千キロリットル増の1,859千キロリットル、当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、1,226千キロリットル増の1,881千キロリットルとなりました。

こうした状況のもと、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、大規模定期修理の影響解消に伴う販売数量の増加等により、前年同期比1,629億円増収の2,085億円となりました。損益につきましては、在庫影響（総平均法および簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響）が130億円の原価押し下げ要因（前年同期は28億円の原価押し下げ要因）となり、営業利益は178億円（前年同期比185億円増益）となりました。経常利益は186億円（前年同期比195億円増益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は157億円（前年同期比157億円増益）となりました。

なお、当期の在庫影響を除いた実質ベースの損益は、大規模定期修理の影響解消等により、営業利益相当額は48億円（前年同期比83億円増益）、経常利益相当額は55億円（前年同期比93億円増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ665億円増加の2,915億円となりました。主な要因は、棚卸資産の増加466億円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加240億円、未収入金の減少31億円であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ6億円増加の1,285億円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加25億円、機械装置及び運搬具の減少9億円、建設仮勘定の減少5億円であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ509億円増加の2,981億円となりました。主な要因は、短期借入金の増加369億円、未払揮発油税の増加113億円、買掛金の増加72億円、未払金の減少57億円であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ3億円減少の407億円となりました。主な要因は、長期借入金の減少15億円、修繕引当金の増加7億円であります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ166億円増加の812億円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加149億円、為替換算調整勘定の増加15億円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回予想(2022年5月10日発表)以降の業績の動向等を勘案し、第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたします。

今回の修正見通しの前提として、第2四半期以降のドバイ原油価格は90ドル/バレル(前回予想同80ドル/バレル)、同じく為替レートは130円/ドル(前回予想同120円/ドル)といたしました。

売上高は、第2四半期連結累計期間につきましては前回予想比876億円増収の4,461億円、通期につきましては同1,694億円増収の8,717億円となる見通しです。

損益につきましては、原油価格の想定を引き上げたことによる在庫影響の原価押し下げ効果の拡大に加え、製品マージンの堅調な推移等を見込んでおり、第2四半期連結累計期間につきましては営業利益237億円(前回予想比176億円増益)、経常利益237億円(同175億円増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益199億円(同147億円増益)、通期につきましては営業利益259億円(同169億円増益)、経常利益241億円(同160億円増益)、親会社株主に帰属する当期純利益200億円(同134億円増益)となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた実質ベースの損益は、第2四半期連結累計期間につきましては営業利益相当額で83億円(前回予想比53億円増益)、経常利益相当額で83億円(同52億円増益)、通期につきましては営業利益相当額で183億円(同123億円増益)、経常利益相当額で165億円(同114億円増益)となる見通しです。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,388	12,286
受取手形、売掛金及び契約資産	78,707	102,758
有価証券	100	100
棚卸資産	117,862	164,467
未収入金	13,345	10,208
その他	3,567	1,735
流動資産合計	224,971	291,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,653	12,486
油槽（純額）	2,974	2,952
機械装置及び運搬具（純額）	34,409	33,439
土地	51,542	51,542
建設仮勘定	1,956	1,446
その他（純額）	529	488
有形固定資産合計	104,065	102,355
無形固定資産		
ソフトウェア	624	573
その他	134	134
無形固定資産合計	758	707
投資その他の資産		
投資有価証券	21,130	23,636
長期貸付金	679	679
退職給付に係る資産	859	849
その他	785	733
貸倒引当金	△408	△407
投資その他の資産合計	23,047	25,491
固定資産合計	127,871	128,555
資産合計	352,842	420,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	67,145	74,395
短期借入金	112,018	148,980
1年内返済予定の長期借入金	14,133	13,922
未払金	30,323	24,555
未払揮発油税	16,370	27,759
未払法人税等	944	3,150
賞与引当金	470	283
その他	5,778	5,092
流動負債合計	247,184	298,139
固定負債		
長期借入金	25,943	24,365
繰延税金負債	8,760	8,961
特別修繕引当金	2,452	2,435
修繕引当金	1,510	2,265
退職給付に係る負債	1,849	1,875
役員退職慰労引当金	20	21
その他	582	814
固定負債合計	41,118	40,739
負債合計	288,302	338,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	25,495	25,495
利益剰余金	15,977	30,926
自己株式	△1,431	△1,431
株主資本合計	64,508	79,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	612	542
繰延ヘッジ損益	△591	△282
土地再評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	△950	578
退職給付に係る調整累計額	789	762
その他の包括利益累計額合計	△139	1,601
非支配株主持分	170	173
純資産合計	64,539	81,233
負債純資産合計	352,842	420,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	45,622	208,557
売上原価	45,210	189,200
売上総利益	411	19,357
販売費及び一般管理費	1,064	1,462
営業利益又は営業損失(△)	△652	17,895
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	22	56
為替差益	5	290
持分法による投資利益	242	1,371
タンク賃貸料	60	54
その他	1	13
営業外収益合計	338	1,792
営業外費用		
支払利息	313	790
タンク賃借料	67	53
その他	204	174
営業外費用合計	585	1,018
経常利益又は経常損失(△)	△899	18,669
特別利益		
固定資産売却益	6	0
受取保険金	711	-
特別利益合計	717	0
特別損失		
固定資産除却損	51	8
特別損失合計	51	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△233	18,661
法人税、住民税及び事業税	61	2,872
法人税等調整額	△285	64
法人税等合計	△223	2,936
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10	15,724
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	15,720

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10	15,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	△70
繰延ヘッジ損益	-	309
為替換算調整勘定	265	279
退職給付に係る調整額	△14	△26
持分法適用会社に対する持分相当額	1,126	1,248
その他の包括利益合計	1,323	1,741
四半期包括利益	1,312	17,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,310	17,461
非支配株主に係る四半期包括利益	2	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により需要見通しは不透明であるものの、今後の機械装置の稼働率への影響は限定的であり、会計上の見積りに与える影響は重要でないと判断しております。

(セグメント情報等)

当社グループは石油精製/販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しております。